

# 矢野大和新聞

友人の会3300人の会  
現在450名突破

第6号  
平成26年2月1日  
発行・矢野大和事務所  
発行責任者：矢野大和



安です。そのためには、公務員時代に訪れた、会場に営業をかけること。何年もの間に疎遠になつてゐるところが

沢山あります。例えば、静岡銀行さん、北海道道厅さん、大山崎町さん、香住

町さん、奥州市さん、などなどです。とにかく縁のあつた所に、お便りを

するということです。大事なことだと考へています。皆さん、悪く思わないで笑つて受け流してくれたら幸いです。

皆さんもついでに呼んで下さいませ。皆さんもついでに呼んで下さいませ。

私の事務所のHPに日程が出ていますからついでに、「大阪まで来ているな

ら、神戸に、和歌山に」と言つた具合

です。HPは是非読んでください。そ

んなに、お礼は要りません、多くの人に会えるのが財産ですから。

## 2、嘶のマンネリ化の脱却

大分トヨタの社長、渡邊氏が本当によくしてもらい、8年連続口演を頂きました。迷惑をかけています。理由はマ

ンネリした嘶だからです。これを脱却するにはどうしたらよいかが、今年一

と成長がないらしくて、それで新年には毎回目標を立てるのです。その目標を達成した時に幸福感。いくつになつても、幸福感を味わいたいですね。

1、今年も、400回の口演を目指す

ありがたい事に、昨年末に受けっていた

今年の依頼数が、100回を超えていたのでこれを1年間キープすることを考えます。4月以降の依頼がとても不

少し変わった、話にしたいと思つてしまふことは本当にありがたい事です。發

## 3、県南落語組合の30周年記念の年を迎えて

落語好きの素人の会が、30周年を迎えることは本当にありがたい事です。發

表会を2回、出張寄席を100回近く。プロを呼んでの落語会の開催と、活動

内容は今年も変わりませんが、記念誌の発行を行いたいと思つています。仲間は18名、それぞれが人生で知り合つた証（記念誌）を作つても良いのではないかとなり編集実行委員会を立ち上げている所です。昨年は、「県南落語」のメンバーと「話し方教室の卒業生の会」のコラボも致しましたが、折に触れ今年もやつてみたいと思つています。1月10日の教室には、品矢君が落語を披露してくれました。

ケーブルテレビ佐伯の出演や、月刊誌セーノの原稿書き、各研修会への参加、自主発表会等々、出来だけ忙しい年間

にしたいと思つています。そして何よ

りの目標は月に一度は東京に行くこと

です。どんな田舎にいても、東京は訳

なく行ける、その感覚をもてば「十分

大分でもやつていける」が落語家の夢

を捨て、私のお宮を継いだ原点だった

ので、今年もそうします。1か月前に計画を立てれば、飛行機代2万円で往

復が出来るのですから、本当に格安航

空券はありがたい事です。

## 5、その他

た、他の神社からも依頼も受けて、神道の口演も出来るのだと言うのを見せたいものです。合わせて日本人の誇りを取り戻したいそんな口演にしたい

ものです。  
神事は家業です、真摯に受け止め、奉職したいと思つています。ありがたい事に昨年息子が帰つてきました、娘も出来ますので彼等にも手伝つてもらつて、行いたいと思います。今までお手伝いただいている、鍵取りさんにも変わらぬご支援を頂きたくお願い申し上げます。昨年は佐賀県神社庁や長崎県神社からも口演依頼を受けまし



## ベスト5

昨年の活動の中での出来事ベスト5を発表します。

### 5位 8月に新たに本とCDが発売。

本は、家の出版社から出版（担当者は堀内さん）、CDはビデオアーツミュージックが製作（担当者は前田さん）。私のような者の作品が、売れば印税が貰える会社とお付き合いが出来ることに、ただただ感謝です。皆さんのお蔭で、なんとか売れてます。（口演の後の衝動買いに頼ります）（笑）本の、もつと笑って元気、では（県南落語組合）や（話し方教室）のことも書けました。ありがたい事です。CDは、過去自主製作の「ピーマンのゆくえ」と「たか君の通学路」の改訂版として製作しました。いずれも1万枚目指します。しかも過去の分を合わせて3枚組の「矢野大和、笑いの詰め合わせ」まで作ってくれました。パッケージがすごく良くて、中には、大分の宣伝になるよう配慮をして頂いてます。

### 4位 話し方教室卒業生の会、初めての研修会。

大分合同新聞文化教室、人の心をつかむ話し方教室の卒業生の会はお蔭で50名近い人数になりました。自分たちの発表会に加えて、すぐれた話術の研修会をという意味で、講師を招いて9月に開催しました。当日は100名のお客様、第4期の委員長の佐藤さん始め多くの役員が人を集めてくれて、大盛況でした。卒業生のメンバーの心を

鷺掴みにした、講師、三浦清一郎先生（西日本生涯学習実践交流会主宰）には3時間の熱演をしていただきました。その後の懇親会でファン続出です。今年は、落語家の三遊亭歌奴師匠を3月に計画しています。今後の候補には、京都の小畠先生、山口の中原先生、赤田先生、福岡の田中先生、恩師の福留先生の方々。招聘し紹介したい先生たちはあまりにも多すぎて限りなしです。



### 3位 CTS（ケーブルテレビ佐伯）地元の放送局で番組を持つことについて

親友、富明君（県南落語組合発起人）の紹介で11月から15分の「矢野大和の笑って元気」を持つことになりました。2週間に1本の録画です。はつきり言つて、暗中模索の手探り状態ですが、新年になり充実をさせようと思つています。まず、相方の汐月さんとの入念な打ち合わせ、笑い噺の工夫、写真の工夫、文脈の工夫、等々問題は山積みです、会社の古川常務や安達部長の英断に迷惑をかけないようにしないと申し訳が立ちません。チャンスを与えて頂いた事に感謝です。

### 2位 大きな祭典（神幸祭）が同日開

昨年は、全般的に、口演優先のため神事がおろそかになりました。氏子の方に本当に迷惑をかけています。謙虚に反省をしなければなりません。私の補助をして頂ける矢野鍵取りさん、野田総代長さん、河野総代長さん方にはお宮を良くするための修行をしていました。本当によくして頂き感謝にたえません。申し訳ないです。申司は、今後お宮を良くするための修行をしていくと思って、もうしばらく外でのネットワーク作りにご協力ください。宇都町に2つ在った、椿原祭典と八四原祭典（いずれも御神輿ができる神幸祭）を同日に同場所で9月に開催。商工会青年部や区長会、特に役場の田原局長や吉良係長、皆さんのおかげで開催出来ました。当日は小雨にもかかわらず、過去最大の参拝客でにぎわいました。今後ともよろしくお願ひします。

### 1位 何といつても息子の卒業、大分に帰郷、しかも神職の免許取得

岱が、神職の免許を取得して、私に代わって神事をしてもらえることが一番大きいです。東京都庁の就職を断つて、大分県庁に務めてくれています。ただただ感謝です。「猪瀬知事に尽くすなら、広瀬知事に尽くせ」今となつては私の名言となりました。月に2日以内は神事を手伝つてもらえるという事で、宇都町に帰り神に奉職しています。感謝している親ばかをお許しください。彼は神樂が好きなので、神事の時に舞つてもらおうかなとも考えていました。感謝している親ばかをお許しください。彼は神樂が好きなので、神事の時に舞つてもらおうかなとも考えていました。私の母親が「跡継ぎが出来た」とおお喜び。私の人生の最大の親孝行が出来ました。神様のお蔭です。

## 親友吉良さんとの対談



大きな仕事の一つに、前外務副大臣があつた吉良司司さんとの対談を行つたことがある。私の親友であり、私の人生を大きく変えた一人でもある。もちろん、良い方に人生を変えた人。彼の考え方と私の考え方は本当によく似ています。はつきり言つて、与党の時から今の民主ではダメだと思う時が多くつた。彼が民主党に入つたのは古い体質の自民党が嫌いなだけで、考え方は自民に近いところがいっぱいある。私も、彼も完全に保守の考えだ。対談では、吉良さんの生き立ち、東大時代、日商岩井時代、政治家を志した理由、今後の日本のあり方などを親しく対談させていただきました。楽しい対談だった。せつかんだからCDにしようということになり、80分のCDにしました。本当に面白く出来あがつていて、笑いが多くて、吉良さんのお人柄もたくさん出ています。1枚1000円で売っています。是非買って聞いてみて下さい。

もう一年たつた笑いツアーバイブル



昨年11月に初笑い県南落語組合と寿司と神楽」を組み合わせた佐伯1泊ツアーレを行つた。大成功だつただけに、今年もという問い合わせがある。當業は私の口演の時にチラシを配つて、一人一人を一本釣りして参加者を増やし、山口、福岡、遠く島根からも参加者が増え、会場となつた佐伯市金水苑ホテルは貸し切り状態となつた。一番受けたのは我らの県南落語ではなくて、宇目神楽の舞いであつた。太鼓、鐘、笛の音色に合わせて若者が舞う様は圧巻で、多くの女性（おばちゃん達）がまるでスマップのコンサートを見るように食いついて見ていた。これだけでも観光資源になると思った。このツアーは企画してよかつたです。少しは佐伯のためになつたと思う。今後は、佐伯市観光協会とタイアップしながら第2弾、第3弾を計画したいと思います。一番ありがたいことは、口演の時にチラシをまくと、必ずその会場の誰かが行つてくれるということです。今年は県南落語組合の30周年です。何か一つ笑いのツアーレを行つてみたいのです。

# 正月早々の ビックニュース



昨年、思い切つて1パック3本入りのCDを作るようになりました。信じられないかもせんが、売れるのです。お正月早々にびっくりする所から3パックCDの注文依頼が来た。北海道の中央に位置する、愛別町の役場からでした。どうしてでしょう?今から10年前に私と小平町長が北海道の旭川市に呼ばれた時に「それでは、うちも」とおじやませていただき、口演をさせてもらつた所なのです。その時の私のことを覚えていただいてるなんて、とてもありがたいことです。本当に感謝です。CDを聴いていただけたら逆に呼んでくれるかどうか不安ですが、10年前と今とではかなりネタも変わつて来ていると思います。ギャラはあまり要りません。交通費だけでも良いですから、良かつたら呼んでみてくださいませ。会えるのが楽しみ。

青森の駒井さん大分に来る



す。いつもやは岩手県輕米町まで音楽をしてくれたのだから、感謝にたえません。今後ともよろしくお願ひします。昨年も3日間、黒石市と弘前市で口演をさせていただきました同行した前田さんにもよく対応していただいて2泊3日の旅を十分に楽しみました。この駒井さんが大分にやつて來たのです。日本でインターハイがある、その応援に、フエンシングの関係で、なんと駒井さんは青森県フエンシング協会の役員さんでした。この大分来県の対応を私の事務所の岡嶋にしてもらいました駒井さん、喜んでくれたか心配です。いやきつと喜んでいる筈。今年も東北ツアーレ考えてくださいませ。

# ブログに書けない こじだけの話

昨年の頂いた一番のネタは、「年をとつても教養、年をとつても教育」という話。年寄りになつても、用事が有ることを「今日・用」。お歳を召しても行く所が有ることを「今日・行く」と言つらしい。爆笑をした。よくつかわせてもらつてゐる。今年、80歳になる母がいる。私は母が大好きです。多分死んだら大泣きをします。でも、生きている時にそれを言うのは大変にてくれる。自分の事を自分でしてくれるだけで感謝なのに、彼女はまだ向上心がある。短歌を詠みだした。ころばん教室に行きました。まだへきよういくへきようよつがあるのだ。近所の方々が心配して温泉にも日帰りで連れて行ってくれる。彼女のこれまでの生き方がそつさせるのだろう。戦前生まれは凄いです。私はわざと負荷をかけているその代わり給料もあげます、当たり前です。

お宮の仕事は全て準備してくれていて、本当に助かる。伴の神事の時はもつと大変で、心配なのが現場までついて行く(笑)。周りの人は微笑ましくみている。

1年前に卒業生の会「笑わせたいわ笑学校」を立ち上げ、年3回の発表会や外部講師を招聘しての講演会、趣向をこらした忘年会など、準備から司会、反省会に至るまで、卒業生の会が中心となつてやつてくれています。本当に感謝です！

去年は、4月7日にNHKホールで私のCD録音を兼ねた第4回発表会を1日3回やりましたし、6月21日には能楽堂での第5回発表会を行い、10月5日には高田公民館に私の師である社会教育学者三浦清一郎先生をお招きして4時間の講座をやつていただき大好評を得ました。11月30日には第6回発表会を兼ねた忘年会をして、みんなで感動や喜びを分かち合つて1年を締めくくりました。

どうしてこんなにみんな仲良くなれるんだろう？どうしてこんなに感動するんだろう？どうしてこんなに感動す



当もつきました。募集しても生徒が来てくれないんじやないかと思つたりもしたのですが、今では在校生・卒業生合わせて50名にもなりました。みなさんよくイヤにならずに来て来てくれました（笑）

しかも、半年10回の話し方教室を卒業してからの方が充実した活動になっているというのがすごいところです。



能楽堂樂屋にて



三浦清一郎先生

大分合同新聞主催の話し方教室を始めたもう2年半になります。現在は6期で9名の方が楽しく学んでおられます。開講当初は、「話し方を教えること」が私にとって初めての試みでしたので、どういう展開になるかまったく見当もつきませんでしたし、募集しても生徒が来てくれないんじやないかと思つたりもしたのですが、今では在校生・卒業生合わせて50名にもなりました。みなさんよくイヤにならずに来て来てくれました（笑）

私なりに考えてみると、やはりそれは話し方教室での体験が原点になつているのではないかと思います。話し方教室では、「謙虚にしゃべる」ということを学ぶために、失敗談や自分が抱えていた悩みを話します。本人は大真面目で辛いことを話すのですが、私がつっこみを入れて笑わせたり、良い所



NHK キャンパスにて

をみんなで褒めまくるので、恥ずかしい体験や辛くて悲しい体験が「笑いのネタ」になつて何でも笑い飛ばせるようになります。本当に「笑い」の力は大きいです。笑うと自然に心が開きますし、褒められたことによつて自信も出でります。そして、教室の他のメンバーとは絆が深まつて、何でも話せますし、褒められたことによつて自信も出でります。まさに、みんなが「笑つて元気」になる構図がそこにあるのです。

おかげさまで今年は、3月に大分県国東市、5月に福岡県柏原郡で開催される生涯学習実践交流会で「笑いが無縁社会を変える！」というテーマで、卒業生の会の活動を事例発表させていたくことになつておりますし、3月16日には大分出身の落語家である三遊亭歌奴師匠をお招きしての勉強会も予定されていますので、昨年以上に活動の幅が広がつていくと思われます。この活動を通してみんなが元気になれば、私としては本当に嬉しい限りです。